

アクサ生命 PRESS RELEASE

2015年4月23日

アクサ生命、日本の生命保険業界初、 事業継続マネジメントシステムに関する国際規格「ISO22301」を取得 ～カスタマーセントリシティ(お客さま中心主義)のさらなる強化に向けて～

アクサ生命保険株式会社(本社:東京都港区、代表執行役社長兼 CEO:ジャック・ドゥ・ペレティ)は、2015年4月23日に ISO(国際標準化機構:International Organization for Standardization)の事業継続マネジメントシステム規格「ISO22301」を取得しました。当社は日本で初めてこの認証を取得した生命保険会社*となります。

アクサ生命は、東日本大震災を契機として、事業継続の重要性を再認識し、2012年4月に危機管理・事業継続部門を設置しました。以降、いかなる事象が発生した場合においてもお客さまに平時と変わらぬサービスを提供することができる体制を構築してまいりました。また、昨年には、事業拠点の分散と重要業務の移転によって、事業の継続性を飛躍的に強化することを目的として、「札幌本社」を設置しました。これらの危機管理・事業継続における一連の取り組みが評価され、国際的な審査機関から「ISO22301」の認証を取得しました。

今回の認証取得は、当社の事業継続の取り組みや体制が、国際的にも高いレベルであることの証であり、アクサ生命が目指すカスタマーセントリシティの実現に向けたさらなる一歩となるものです。アクサ生命は、今後もお客さまをいかなる状況においてもお守りし、お客さまの安心でよりよい人生の実現に貢献してまいります。

■国際規格「ISO22301」について

ISO(国際標準化機構:International Organization for Standardization)は、国際規格を発行する代表的な組織の一つです。「ISO22301」は、事業継続マネジメントのフレームワークを認証する国際規格であり、本規格の取得後も、定期的に事業継続マネジメントに関する厳格な審査が行われます。

* JIPDEC 公開情報による(4月23日時点)

アクサ生命について

アクサ生命は AXA のメンバーカンパニーとして 1994 年に設立されました。AXA が世界で培ってきた知識と経験を活かし、220 万の個人、2,200 の企業・団体のお客さまに、死亡保障や医療・がん保障、年金、資産形成などの幅広い商品を、多様な販売チャネルを通じてお届けしています。2013 年度には、2,723 億円の保険金や年金、給付金をお支払いしています。

AXA グループについて

AXA は世界 59 ケ国で 15 万 7,000 人の従業員を擁し、1 億 300 万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく 2014 年度通期の売上は 920 億ユーロ、アンダーライティング・アーニングス(基本利益)は 51 億ユーロ、2014 年 12 月 31 日時点における運用資産総額は 1 兆 2,770 億ユーロにのぼります。AXA はユーロネクスト・パリのコンパートメント A に上場しており、AXA の米国預託株式は OTC QX プラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス(DJSI)や FTSE4GOOD などの国際的な主要 SRI インデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEP FI)による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

～本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします～
アクサ生命保険株式会社 広報部
電話:03-6737-7140 FAX:03-6737-5964
<http://www.axa.co.jp>

アクサ生命の事業継続体制強化に向けた取り組み

お客さまのために /

- 2011年3月 福岡バックアップオフィスの開設を決定(120名の社員を福岡に配置)
2012年2月 危機管理・事業継続部門を新設し、事業継続計画の取り組みを強化
2013年11月 事業継続上重要な本社機能(ホットサイト)を札幌市に開設することを発表
2014年11月 「札幌本社」(ホットサイト)を設立(社員170名を含む約500名を札幌本社に配置)



陸前高田市の
仮設アクサ生命事務所受付



福岡バックアップオフィス



記者会見の様様
左から：高橋北海道知事、当社副社長幸本、
執行役小笠原、上田札幌市長



札幌本社

- 2015年4月 事業継続マネジメントシステム「ISO22301」を取得



BCMS 622484 / ISO22301

その他実施した 取り組み

- ・ 災害保険金等の全額支払い
- ・ 保険料払込猶予期間を最長9ヶ月延長
- ・ 手続きの際に必要な書類の一部を省略するなど保険金、給付金、契約者貸付金の簡易・迅速な支払い
- ・ 入院給付金の取り扱いを変更